

令和4年度

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金

実施状況及び効果検証
(士別市)

事業一覧

1. 学校保健特別対策事業費補助金
2. 新型コロナウイルス感染症対策事業
3. 起業フォローアップ・経営支援事業
4. バス送迎等感染防止対策事業
5. 障がい者入所施設等感染予防対策事業
6. 高齢者入所施設等感染予防対策事業
7. 保育対策総合支援事業費補助金
8. 子ども・子育て支援交付金
9. 保育施設等感染防止対策補助事業
10. 子ども・子育て支援交付金
11. 保育対策総合支援事業費補助金
12. 新型コロナウイルス感染症検査支援事業
13. 公立学校情報機器整備事業
15. スポーツイベント感染予防対策事業
16. 土別市立病院事業会計繰出・補助(夜間緊急外来送迎事業)
17. 土別市立病院事業会計繰出・補助(病棟受付感染対策事業)
18. 救急業務等感染症防止対策事業
19. 次世代モビリティビジョン推進事業
20. ホームページ情報発信強化事業
21. 事業者復活サポート応援金事業
22. 地域活性化応援ポイント事業
23. 泊まって応援ポイント事業
24. がんばろう！みんなの商店街事業
25. みんなの新たなチャレンジ応援金事業
26. 公立学校環境整備事業
28. 住民税均等割課税世帯生活支援金給付事業
29. 学校給食原材料費高騰対策事業
30. 水道事業会計繰出・補助(水道料生活等支援事業)
34. 介護・障がい施設応援金事業
35. 原油価格高騰対策家庭応援事業
36. 農林業物価高騰対策応援金事業
37. エネルギー価格高騰対策応援金事業
38. エネルギー価格高騰対策運送事業者等応援金事業
40. 学校保健特別対策事業費補助金

※No. 14、27、31、32、33、39 は欠番

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

1	事業名 (実施計画記載事業)	学校保健特別対策事業費補助金																																
	担当部署	生涯学習部学校教育課																																
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期																														
11,246,000 円		5,623,000 円		R4.5.20 ~ R5.2.28																														
■事業の目的・効果																																		
コロナ禍の学校において、感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校における感染症対策、児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。																																		
■交付金を充当する経費内容																																		
学校における感染症対策等支援(石けん、消毒液等)、子供たちの学習保障支援(大型モニター等)																																		
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																																		
市内小中学校、高等学校																																		
■事業の成果・実績																																		
①事業の経過及び実施状況																																		
コロナ禍の学校において、感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するために、大型ディスプレイや電子黒板を導入するほか、アクリルパーティションを配置することで、生徒間の距離を保ち密を回避した。 さらに、オンライン授業などを行うために、PCやWebカメラ、マイク等を整備し、児童及び生徒の学びの保障をする体制整備を行った。 また、学校内における感染症対策に必要な消耗品を購入した。 購入期間: R4.6~R5.2まで <table border="1"> <tr> <td>令和4年6月分</td> <td>237,468</td> <td>デスクトップパネル、フェイスフィットマスク 他</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月分</td> <td>152,084</td> <td>卓上用パーティション、メディカルシーツ 他</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月分</td> <td>595,285</td> <td>大型サーキュレーター 他</td> </tr> <tr> <td>令和4年9月分</td> <td>2,055,558</td> <td>大型ディスプレイ、大型サーキュレーター 他</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月分</td> <td>1,088,327</td> <td>大型ディスプレイ 他</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月分</td> <td>1,060,173</td> <td>電子黒板、非接触自動検温器 他</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月分</td> <td>874,593</td> <td>スポットエアコン、卓上CO2モニター 他</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月分</td> <td>1,141,139</td> <td>ポータブルアンプ、サーマルカメラ 他</td> </tr> <tr> <td>令和5年2月分</td> <td>4,041,871</td> <td>大型ディスプレイ、ジェットヒーター、オンライン授業用PC</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,246,498</td> <td></td> </tr> </table>					令和4年6月分	237,468	デスクトップパネル、フェイスフィットマスク 他	令和4年7月分	152,084	卓上用パーティション、メディカルシーツ 他	令和4年8月分	595,285	大型サーキュレーター 他	令和4年9月分	2,055,558	大型ディスプレイ、大型サーキュレーター 他	令和4年10月分	1,088,327	大型ディスプレイ 他	令和4年11月分	1,060,173	電子黒板、非接触自動検温器 他	令和4年12月分	874,593	スポットエアコン、卓上CO2モニター 他	令和5年1月分	1,141,139	ポータブルアンプ、サーマルカメラ 他	令和5年2月分	4,041,871	大型ディスプレイ、ジェットヒーター、オンライン授業用PC	合計	11,246,498	
令和4年6月分	237,468	デスクトップパネル、フェイスフィットマスク 他																																
令和4年7月分	152,084	卓上用パーティション、メディカルシーツ 他																																
令和4年8月分	595,285	大型サーキュレーター 他																																
令和4年9月分	2,055,558	大型ディスプレイ、大型サーキュレーター 他																																
令和4年10月分	1,088,327	大型ディスプレイ 他																																
令和4年11月分	1,060,173	電子黒板、非接触自動検温器 他																																
令和4年12月分	874,593	スポットエアコン、卓上CO2モニター 他																																
令和5年1月分	1,141,139	ポータブルアンプ、サーマルカメラ 他																																
令和5年2月分	4,041,871	大型ディスプレイ、ジェットヒーター、オンライン授業用PC																																
合計	11,246,498																																	
②事業の効果・検証																																		
学校の教育活動継続に際して、感染症対策・学習保障等のために保健衛生用品や3密対策用品等を配備したことにより、感染リスクの軽減を図ることができた。																																		
③成果目標																																		
目標	各学校における感染症対策や学びの保障に関する体制充実を全ての学校で実施する(全11校 100%)																																	
実績	全11校において、学びの保障のための体制整備を行った。																																	
■備考																																		
※国庫補助事業(国庫補助額: 5,623,000円)																																		

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

2	事業名 (実施計画記載事業)	新型コロナウイルス感染症対策事業		
	担当部署	総務部総務課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
2,067,662 円		2,067,662 円		R5.4.1 ~ R5.3.31
■事業の目的・効果				
新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染拡大防止のため、公用・公共用施設での使用が見込まれる消毒液等の消耗品を購入する。				
■交付金を充当する経費内容				
消耗品費				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
士別市				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
	金額	備考		
令和4年5月分	79,376	消毒液		
令和4年6月分	187,825	消毒液、足踏み式ディスペンサースタンド、除菌機紫外線ランプ、ゴミ袋 他		
令和4年7月分	79,618	ペーパータオル、足踏み式ディスペンサースタンド、アルコールタオル		
令和4年8月分	78,650	ゴミ袋、消毒液 他		
令和4年9月分	562,452	抗原テストキット、ディスペンサー、ウェットティッシュ、アルコールタオル、消毒液		
令和4年10月分	99,660	アルコールディスペンサー 他		
令和4年11月分	83,600	電子体温計、消毒液		
令和4年12月分	6,240	クエン酸 他		
令和5年1月分	333,135	ゴム手袋、消毒液、アルコールディスペンサー、微粒子用マスク 他		
令和5年2月分	505,230	ペーパータオル、消毒液、抗原テストキット 他		
令和5年3月分	51,876	消毒液、抗原テストキット、アルコール除菌トイレ用		
合計	2,067,662			
②事業の効果・検証				
感染症の予防及び拡大防止のため、公共施設等で使用する消毒液等を整備することで、クラスターの発生により施設を閉鎖することなく、市民生活に必要な行政手続きなどを行うことができた。				
③成果目標				
目標	公用・公共施設でのクラスター発生0件			
実績	感染予防対策により公共施設等におけるクラスターの発生はなかった。			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

3	事業名 (実施計画記載事業)	起業フォローアップ・経営支援事業		
	担当部署	総務部企画課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
500,000 円		500,000 円		R4.6.1 ~ R5.3.31
■事業の目的・効果				
新型コロナウイルスの影響による、商店街を中心とした地域の消費落ち込みを受け、ウィズコロナにおける経営の転換や地域活性化の視点に基づく地域に根ざした企業の育成のため、市内の若者や女性を中心とする起業を目指す方への支援と、起業や事業承継して間もない市内事業者への持続的経営に向けた支援を行う。				
■交付金を充当する経費内容				
講習、起業相談、経営相談に関する講師派遣経費				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
起業予定者(市内及びUIJターン希望者等)及び事業者(代表者等)				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
A 事業の経過				
■7/20 羊のまち しべつ 起業・経営セミナー 20名参加(市内外からの自由参加)				
■9/1 個別講習(支援)の受講申込み締め切り及び支援対象者の決定				
→セミナー参加者のなかから専門家((株)タナベコンサルティング北海道支社からの派遣)による講習等の支援を受けたい方を募集し、3名の方から応募あり。(起業希望向け支援1名、経営改善等支援1名、事業承継1名)				
■9/30 1回目講習(実地)				
■10/21 2回目講習(実地)				
■11/17 3回目講習(実地)				
■1/13 4回目講習(web)				
■2/17 5回目講習(実地)最終回				
■3/3 講師((株)タナベコンサルティング北海道支社)からの事業実施報告				
B 支援対象者への講習内容等				
■起業希望 30代・男性 持続可能な法人の運営に向けて、事業計画及び収支計画に対する考え方を学ぶ				
■経営改善 30代・男性 宿泊&飲食部門における売上の底上げに向けたSNSの活用、新たなビジネスのケーススタディ、マネジメント				
■事業承継 30代・女性 事業承継に向けて、会社経営や会計・経理事務の基本、株価対策を中心としたカリキュラム				
②事業の効果・検証				
今年度3名を支援し、各受講者のニーズにあわせた講習等を実施。年度末実施の受講者アンケートでは、全受講者から令和5年度の継続受講申し出があるなど、一定の成果を収めた。→本事業は、起業や経営の改善に関する支援としているため、短期的に数字で効果を得ることは難しく、各受講者の収益増は目標としていない。受講者は3名であったが、令和5年度にも追加受講者を募り、支援対象者を増やすことで継続受講者5名を達成させる。				
③成果目標				
目標	次年度以降にも支援することと決定する対象者及び事業者の総数 5者以上			
実績	令和4年度末時点継続受講の見込み 3名 ※事業進捗率60%(3名/5名=0.6)			
■備考				
令和5年8月時点において、令和5年度にあらたに2名を支援対象とし、令和4年度の継続受講者とあわせて5名を確保。				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

4	事業名 (実施計画記載事業)	バス送迎等感染防止対策事業														
	担当部署	生涯学習部学校教育課、スポーツ推進課・健康福祉部いきいき健康センター														
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ～ 事業終期												
1,771,005 円		1,771,005 円		R4.5.17 ～ R5.3.31												
■事業の目的・効果																
本市の各種事業におけるバス送迎や交通費助成等の実施にあたり、コロナ対策としてのかかり増し経費が見込まれることから、当該経費を一本化することで、既存事業との明確化や事務の効率化等を図るなかで、バス利用者の感染リスクを低減させる。																
■交付金を充当する経費内容																
三密を避けるための増便や車両の大型化等に伴う経費、人数制限等に伴う運行回数の増、開催会場変更等に伴う運行距離の増など																
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																
バス事業者、バス利用団体等																
■事業の成果・実績																
①事業の経過及び実施状況																
○学校行事																
学校の教育活動における新型コロナ感染症拡大防止対策として、3密回避のため車両の増車・サイズアップを行った。																
【実績】																
<table border="0"> <tr> <td>プール授業</td> <td>サイズアップ8件</td> <td>増台17件</td> <td>553,678円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他課外授業</td> <td>サイズアップ9件</td> <td>増台15件</td> <td>785,473円</td> <td>計 49件 1,339,151円</td> </tr> </table>					プール授業	サイズアップ8件	増台17件	553,678円		その他課外授業	サイズアップ9件	増台15件	785,473円	計 49件 1,339,151円		
プール授業	サイズアップ8件	増台17件	553,678円													
その他課外授業	サイズアップ9件	増台15件	785,473円	計 49件 1,339,151円												
○文化・スポーツ大会等																
児童生徒が文化・スポーツ大会に参加する際のバス利用について、座席利用の間隔を開けるための規格変更又は、増便対応にかかる経費に助成した。スポーツ合宿は、本市経済の重要な施策であり、コロナ禍においても安心安全に合宿者を受け入れる体制を構築する必要があるため、合宿者送迎で複数チームが同乗する場合に、感染拡大を防ぐ取り組みを実施した。																
また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市内宿泊者数が大幅に減少し宿泊業の経営が厳しい状況にあることから、合宿者送迎に係る経費を支援した。																
【実績】																
<table border="0"> <tr> <td>交通費助成</td> <td>9件</td> <td>124,652円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バス車両変更</td> <td>4件</td> <td>109,384円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送迎費用支援</td> <td>8件</td> <td>187,138円</td> <td>計 21件 421,174円</td> </tr> </table>					交通費助成	9件	124,652円		バス車両変更	4件	109,384円		送迎費用支援	8件	187,138円	計 21件 421,174円
交通費助成	9件	124,652円														
バス車両変更	4件	109,384円														
送迎費用支援	8件	187,138円	計 21件 421,174円													
○いきいき健康センター交流事業送迎																
交流事業や老人クラブの送迎に係るタクシー業務委託料について、コロナ対策によるかかり増し経費を支援した。																
【実績】																
<table border="0"> <tr> <td>普通タクシー</td> <td>13台</td> <td>10,680円</td> <td>計 10,680円</td> </tr> </table>					普通タクシー	13台	10,680円	計 10,680円								
普通タクシー	13台	10,680円	計 10,680円													
②事業の効果・検証																
・学校の教育活動継続に際して、感染症対策のため車両の増車・サイズアップを行ったことにより、感染リスクの軽減を図ることができた。																
・バスの規格を変更したことで感染リスクが低減し、文化・スポーツ大会に安全・安心に参加することができた。																
・バスの車両を変更したことにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することができた。また、合宿者送迎の費用を支援したことにより、宿泊業の経営安定に繋がった。																
③成果目標																
目標	バス送迎関連事業実施中の感染者0人															
実績	市内小中学校で感染はあったものの、感染経路等を確認した結果、バス送迎に起因した感染はなかった。0人															
■備考																

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

5	事業名 (実施計画記載事業)	障がい者入所施設等感染予防対策事業		
	担当部署	健康福祉部福祉課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
3,225,000 円		3,225,000 円		R4.6.27 ~ R5.1.26
■事業の目的・効果				
障がい者が入所・居住する施設や通所施設の従業員等に対する検査などの費用に対する助成を行い、感染拡大予防と継続したサービス提供が実施できるよう支援する。				
■交付金を充当する経費内容				
新型コロナウイルス感染症の検査費用、感染予防対策経費(マスク等の消耗品、備品購入費、設備改修費用など)				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
障がい福祉サービス事業所を運営する法人等				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
障がい福祉サービス事業所でのクラスターの発生や感染拡大を防止し、継続したサービス提供ができるよう、感染予防対策に係る経費を助成した。 R4.6.27起票、R4.7.7支出 (福)士別愛成会 390,000円 R5.1.19起票、R5.1.26支出 (福)しべつ福祉会 2,760,000円 R5.1.19起票、R5.1.26支出 ノースリーフ合同会社 75,000円 計 3,225,000円				
②事業の効果・検証				
経費を助成することで、障がい福祉サービス事業所での新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大に努め、施設の安全安心な利用に繋がった。				
③成果目標				
目標	クラスターの発生0件			
実績	クラスターの発生1件			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

6	事業名 (実施計画記載事業)	高齢者入所施設等感染予防対策事業																				
	担当部署	健康福祉部介護保険課																				
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期																		
15,784,567 円		15,784,567 円		R4.11.15 ~ R5.2.22																		
■事業の目的・効果																						
介護保険事業所でのクラスターの発生や感染拡大を防止し、継続したサービス提供ができるよう、検査費用や感染予防対策に係る経費の助成を行う。																						
■交付金を充当する経費内容																						
新型コロナウイルス感染症予防対策経費(マスクなどの消耗品、備品購入費、設備改修費用など)令和4年4月1日から12月31日までの期間の経費を対象とする。																						
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																						
介護サービス事業所を運営する法人等																						
■事業の成果・実績																						
①事業の経過及び実施状況																						
介護保険事業所の職員に対する検査費用等(30,000円×1人)の新型コロナ感染予防対策経費の助成を行い、クラスター発生や感染拡大防止を図った。 申請日:令和4年4月1日～8月10日 法人数:16法人 助成額:15,784,567円 【助成施設】 <table border="0"> <tr> <td>・株式会社 さくら企画</td> <td>・株式会社 藤</td> <td>・社会福祉法人 朝日福祉会</td> </tr> <tr> <td>・株式会社 紫苑</td> <td>・福会福祉法人 士別市社会福祉協議会</td> <td>・医療法人社団 三愛会</td> </tr> <tr> <td>・株式会社 C・サポート・アース</td> <td>・株式会社 かしの木</td> <td>・合同会社 コモウェルフェアサポート</td> </tr> <tr> <td>・有限会社 和</td> <td>・株式会社 優和</td> <td>・社会福祉法人 三愛会</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人介護サービスのぽぽん</td> <td>・株式会社 士別ハイヤー</td> <td>・株式会社 北秋</td> </tr> <tr> <td>・士別ケアステップ 合同会社</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					・株式会社 さくら企画	・株式会社 藤	・社会福祉法人 朝日福祉会	・株式会社 紫苑	・福会福祉法人 士別市社会福祉協議会	・医療法人社団 三愛会	・株式会社 C・サポート・アース	・株式会社 かしの木	・合同会社 コモウェルフェアサポート	・有限会社 和	・株式会社 優和	・社会福祉法人 三愛会	・NPO法人介護サービスのぽぽん	・株式会社 士別ハイヤー	・株式会社 北秋	・士別ケアステップ 合同会社		
・株式会社 さくら企画	・株式会社 藤	・社会福祉法人 朝日福祉会																				
・株式会社 紫苑	・福会福祉法人 士別市社会福祉協議会	・医療法人社団 三愛会																				
・株式会社 C・サポート・アース	・株式会社 かしの木	・合同会社 コモウェルフェアサポート																				
・有限会社 和	・株式会社 優和	・社会福祉法人 三愛会																				
・NPO法人介護サービスのぽぽん	・株式会社 士別ハイヤー	・株式会社 北秋																				
・士別ケアステップ 合同会社																						
②事業の効果・検証																						
上記助成金を交付することで、各事業所などで様々な感染対策が実施され、クラスター発生や感染拡大の防止及び継続したサービス提供をすることができた。																						
③成果目標																						
目標	クラスターの発生0件																					
実績	クラスターの発生10件																					
■備考																						

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

7	事業名 (実施計画記載事業)	保育対策総合支援事業費補助金		
	担当部署	健康福祉部こども・子育て応援課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
800,000 円		400,000 円		R4.7.4 ~ R4.11.24
■事業の目的・効果				
認可外保育施設に対し、新型コロナ感染防止対策に必要な機器・器具・備品等の購入費を補助する。				
■交付金を充当する経費内容				
保育対策総合支援事業費補助金(保育環境改善等事業のうち新型コロナウイルス感染症対策支援事業)算定率1.0				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
私立認可外保育施設2施設				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
認可外保育施設に対し、感染防止対策として必要な機器・器具・備品等の購入費を補助した。				
R4.4.1 補助実施要領制定				
R4.4.1~ 補助申請受付				
R4.8.1~ 実績報告受付				
【利用実績】				
認可外保育施設2施設(土別南町保育園、こぶたの家保育園)				
②事業の効果・検証				
本事業の実施により、民間認可外保育施設の感染リスクと感染防止対策経費の軽減が図られた。				
③成果目標				
目標	私立認可外保育施設のクラスター発生0件			
実績	感染予防対策によりクラスターの発生0件			
■備考				
※国庫補助事業(国庫補助額:400,000円)				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

8	事業名 (実施計画記載事業)	子ども・子育て支援交付金		
	担当部署	健康福祉部子ども・子育て応援課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
2,000,000 円		667,000 円		R4.5.13 ~ R4.11.24
■事業の目的・効果				
私立幼稚園や認定こども園に対し、新型コロナ感染防止対策に必要な機器・器具・備品等の購入費を補助する。				
■交付金を充当する経費内容				
子ども・子育て支援交付金(新型コロナウイルス感染症対策支援事業(一時預かり事業))算定率1.0				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
私立幼稚園1施設、認定こども園1施設				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
私立幼稚園や認定こども園に対し、新型コロナ感染防止対策に必要な機器・器具・備品等の購入費を補助した。 R4.4.1 補助実施要領制定 R4.4.1~ 補助申請受付 R4.8.1~ 実績報告受付 【利用実績】 私立幼稚園1施設(土別幼稚園)、私立認定こども園1施設(認定こども園カトリック土別幼稚園)				
②事業の効果・検証				
本事業の実施により、幼稚園及び認定こども園の感染リスクと感染防止対策経費の軽減が図られた。				
③成果目標				
目標	私立幼稚園、認定こども園のクラスター発生0件			
実績	感染予防対策によりクラスターの発生0件			
■備考				
※国庫補助事業(国庫補助額:667,000円)				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

9	事業名 (実施計画記載事業)	保育施設等感染防止対策補助事業		
	担当部署	健康福祉部こども・子育て応援課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
1,511,586 円		1,511,586 円		R4.7.4 ~ R4.11.24
■事業の目的・効果				
私立幼稚園や認可外保育施設に対し、新型コロナ感染防止対策に必要な機器・器具・備品等の購入費を補助する。				
■交付金を充当する経費内容				
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策経費への支援				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
私立幼稚園1施設、私立認可外保育施設2施設				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
私立幼稚園や認可外保育施設に対し、新型コロナ感染防止対策に必要な機器・器具・備品等の購入費を補助した。 R4.4.1 補助実施要領制定 R4.4.1~ 補助申請受付 R4.8.1~ 実績報告受付 【利用実績】 私立幼稚園1施設(瑞祥幼稚園)、私立認可外保育所2施設(土別南町保育園、こぶたの家保育園) 【その他の交付金等】 保育対策総合支援事業費補助金(私立認可外保育所2施設)				
②事業の効果・検証				
本事業の実施により、幼稚園及び認可外保育施設の感染リスクと感染防止対策経費の軽減が図られた。				
③成果目標				
目標	私立幼稚園、私立認可外保育施設のクラスター発生0件			
実績	感染予防対策によりクラスターの発生0件			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

10	事業名 (実施計画記載事業)	子ども・子育て支援交付金		
	担当部署	健康福祉部こども・子育て応援課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
393,699 円		131,000 円		R4.4.5 ~ R5.3.30
■事業の目的・効果				
放課後児童クラブにおいて、新型コロナ感染防止対策に必要な消耗品等を購入する。				
■交付金を充当する経費内容				
消耗品費				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
放課後児童クラブ2施設				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
放課後児童クラブにおいて、新型コロナ感染防止対策に必要な消耗品等を購入した。 購入期間: R4.4~R5.3まで				
	金額	備考		
令和4年4月分	3,921	ペーパータオル、ビューラックス		
令和4年5月分	4,158	マスク、ビューラックス		
令和4年6月分	8,305	マスク		
令和4年7月分	8,079	ビューラックス、ザルコラブ、ペーパータオル		
令和4年8月分	23,562	ペーパータオル		
令和4年9月分	48,640	ビューラックス、ペーパータオル、ゴム手袋、タオル 他		
令和4年10月分	46,678	アルベット、スプレーボトル、ペーパータオル、ビニール手袋 他		
令和4年11月分	4,752	ビューラックス、ペーパータオル		
令和4年12月分	13,695	ゴム手袋、キッチンハイター、スプレー 他		
令和5年1月分	47,454	ビューラックス、ペーパータオル、トイレクリーナー 他		
令和5年2月分	163,883	ペーパータオル、マスク、アマノール 他		
令和5年3月分	20,572	ビューラックス、ハンドソープ、マスク、ペーパータオル 他		
合計	393,699			
②事業の効果・検証				
本事業の実施により、放課後児童クラブの感染リスクと感染防止対策経費の軽減が図られた。				
③成果目標				
目標	放課後児童クラブのクラスター発生0件			
実績	感染予防対策によりクラスターの発生0件			
■備考				
※国庫補助事業(国庫補助額: 131,000円)				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

11	事業名 (実施計画記載事業)	保育対策総合支援事業費補助金		
	担当部署	健康福祉部こども・子育て応援課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
514,697 円		257,000 円		R4.4.15 ~ R5.3.30
■事業の目的・効果				
市立保育所等において、新型コロナ感染防止対策に必要な消耗品等を購入する。				
■交付金を充当する経費内容				
消耗品費				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
市立保育所3施設、地域保育所2施設				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
市立保育所等において、新型コロナ感染防止対策に必要な消耗品等を購入した。 購入期間: R4.4~R5.3まで				
	金額	備考		
令和4年4月分	44,832	ピューラックス、アルペット、雑巾、ビニール手袋 他		
令和4年5月分	72,006	消毒用アルコール、雑巾、ピューラックス、シャボネット 他		
令和4年6月分	29,448	シャボネット、ニトリルシルク、ハンドソープ		
令和4年7月分	4,455	ピューラックス		
令和4年8月分	79,109	マスク、アイペット		
令和4年10月分	16,335	ピューラックス、アルペット		
令和4年11月分	49,744	ピューラックス、アルペット、ペーパータオル、ハンドソープ 他		
令和4年12月分	96,203	アルペット、ペーパータオル、マスク、除菌ティッシュ 他		
令和5年1月分	26,829	ピューラックス、ビニール手袋		
令和5年2月分	29,675	ピューラックス、シャボネット、ゴム手袋、		
令和5年3月分	66,061	ピューラックス、ハンドソープ、タオル、アルコール 他		
合計	514,697			
②事業の効果・検証				
本事業の実施により、市立保育所及び地域保育所の感染リスクと感染防止対策経費の軽減が図られた。				
③成果目標				
目標	市立保育所等のクラスター発生0件			
実績	感染予防対策によりクラスターの発生0件			
■備考				
※国庫補助事業(国庫補助額:257,000円)				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

12	事業名 (実施計画記載事業)	新型コロナウイルス感染症検査支援事業		
	担当部署	健康福祉部こども・子育て応援課、生涯学習部学校教育課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
1,488,860 円		1,488,860 円		R4.4.28 ~ R5.1.26
■事業の目的・効果				
新型コロナウイルス感染症対策として、学校内や子育て施設等での新型コロナウイルス感染症のクラスター等を未然に防ぐため、児童生徒や職員等を対象に抗原検査、PCR検査を実施する。				
■交付金を充当する経費内容				
抗原検査及びPCR検査費用				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
学校、児童福祉施設等の職員及び児童、生徒				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
児童福祉施設に勤務する職員が濃厚接触者として特定された場合、感染拡大を防ぐため職員に対して抗原検査、PCR検査を実施した。 ・抗原検査キット 800回分 ・PCR検査 延べ41人 学校内での感染拡大を防ぐため、児童生徒や教職員等に対して抗原検査、PCR検査を実施した。 ・抗原検査キット 200回分 ・PCR検査 延べ37人 ※事業全体 ・抗原検査キット 1,000回分 832,700円 ・PCR検査 延べ78人 656,160円				
②事業の効果・検証				
感染のおそれのある職員に対して抗原検査、PCR検査を実施することにより、施設におけるクラスターの発生を防ぐことができた。				
③成果目標				
目標	学校、児童福祉施設のクラスター発生0件			
実績	感染予防対策によりクラスターの発生はなかった。			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

13	事業名 (実施計画記載事業)	公立学校情報機器整備事業		
	担当部署	生涯学習部学校教育課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
3,559,635 円		3,559,635 円		R4.4.1 ~ R5.3.31
■事業の目的・効果				
新型コロナウイルス感染症対策として、GIGAスクール構想の推進に向け、ICT端末のサポート対応に係るヘルプデスク業務等を民間事業者へ委託し、支援体制を整備するとともに、十分な通信速度を確保できていない学校でボトルネックとなっているネットワーク機器の応急対応を実施し、子どもの学びを保障する。				
■交付金を充当する経費内容				
ヘルプデスク委託、ネットワーク応急対応(機器購入等)				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
市内全小中学校				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
・GIGAスクール構想の推進に向け、ICT端末のサポート対応に係るヘルプデスク業務を委託し、支援体制を整備した。 Google for Education運用サポート業務委託 10校分 1,430,000円 ※交付金充当額 953,462円 ・十分な通信速度が確保できていない小中学校において、ボトルネックとなっているネットワーク設備の応急対応を実施した。 ネットワーク機器購入 土別小、土別南小、土別中及び土別南中 2,288,000円 ※交付金充当額 1,525,538円 多寄小、温根別小 665,500円 回線工事手数料 124,080円 インターネット使用料 291,055円 合計 3,559,635円				
②事業の効果・検証				
GIGAスクール構想の推進に向けたサポート体制を整備した。 ネットワーク上の課題を改善し、校内通信環境の向上を図った。				
③成果目標				
目標	学校からのICT端末運用に係る問い合わせ等に対し、3日以内の対応完了、トラブル未解決件数0件			
実績	学校からのICT端末運用に係る問い合わせ等に対し、3日以内の対応完了、トラブル未解決件数0件			
■備考				
※公立学校情報機器整備費補助金(GIGAスクール運営支援センター整備事業) 補助対象経費: 1,430,000円 + 2,288,000円 = 3,718,000円 補助金額(対象経費の1/3): 1,239,000円 交付金充当額: 3,718,000円 - 1,239,000円 = 2,479,000円 按分率: 2,479,000円 / 3,718,000円 = 0.6667563206				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

15	事業名 (実施計画記載事業)	スポーツイベント感染予防対策事業																																												
	担当部署	生涯学習部合宿の里スポーツ推進課																																												
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期																																										
555,760 円		555,760 円		R4.6.13 ~ R4.11.10																																										
■事業の目的・効果																																														
スポーツイベント実施に向け、新型コロナ感染防止対策を講じ、安全・安心なイベント運営を行う。																																														
■交付金を充当する経費内容																																														
感染症対策として、イベント実施時の導線確保に使用する消耗品の購入、各スポーツイベント実行委員会への補助																																														
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																																														
士別市、各スポーツイベント実行委員会																																														
■事業の成果・実績																																														
①事業の経過及び実施状況																																														
イベントにおける感染防止対策を図るため、必要な物品等を備えた。																																														
<table border="0"> <tr> <td>○消耗品</td> <td>335,720 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コーン</td> <td>165個</td> <td>123,420 円</td> </tr> <tr> <td>・コーンウエイト</td> <td>165個</td> <td>108,900 円</td> </tr> <tr> <td>・パー</td> <td>100本</td> <td>103,400 円</td> </tr> <tr> <td>○実行委委員会への補助</td> <td>220,040 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リストバンド</td> <td>330個</td> <td>21,780 円</td> </tr> <tr> <td>・窓はりビニール</td> <td>1枚</td> <td>1,595 円</td> </tr> <tr> <td>・アルコール消毒液</td> <td>17本</td> <td>22,440 円</td> </tr> <tr> <td>・ニトリスト使い捨て手袋</td> <td>6箱</td> <td>11,880 円</td> </tr> <tr> <td>・除菌シート</td> <td>2個</td> <td>1,210 円</td> </tr> <tr> <td>・簡易トイレ</td> <td>7基</td> <td>91,332 円</td> </tr> <tr> <td>・体調確認シール</td> <td>2個</td> <td>3,520 円</td> </tr> <tr> <td>・非接触検温器</td> <td>7基</td> <td>38,500 円</td> </tr> <tr> <td>・マスク</td> <td>49個</td> <td>27,783 円</td> </tr> </table>					○消耗品	335,720 円		・コーン	165個	123,420 円	・コーンウエイト	165個	108,900 円	・パー	100本	103,400 円	○実行委委員会への補助	220,040 円		・リストバンド	330個	21,780 円	・窓はりビニール	1枚	1,595 円	・アルコール消毒液	17本	22,440 円	・ニトリスト使い捨て手袋	6箱	11,880 円	・除菌シート	2個	1,210 円	・簡易トイレ	7基	91,332 円	・体調確認シール	2個	3,520 円	・非接触検温器	7基	38,500 円	・マスク	49個	27,783 円
○消耗品	335,720 円																																													
・コーン	165個	123,420 円																																												
・コーンウエイト	165個	108,900 円																																												
・パー	100本	103,400 円																																												
○実行委委員会への補助	220,040 円																																													
・リストバンド	330個	21,780 円																																												
・窓はりビニール	1枚	1,595 円																																												
・アルコール消毒液	17本	22,440 円																																												
・ニトリスト使い捨て手袋	6箱	11,880 円																																												
・除菌シート	2個	1,210 円																																												
・簡易トイレ	7基	91,332 円																																												
・体調確認シール	2個	3,520 円																																												
・非接触検温器	7基	38,500 円																																												
・マスク	49個	27,783 円																																												
②事業の効果・検証																																														
感染防止対策の物品を備えたことで、参加者が安心安全にイベントへ参加することができた。																																														
③成果目標																																														
目標	参加者・関係者のクラスター発生0件																																													
実績	参加者・関係者のクラスター発生0件																																													
■備考																																														

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

16	事業名 (実施計画記載事業)	士別市立病院事業会計繰出・補助(夜間緊急外来送迎事業)		
	担当部署	士別市立病院総務課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
1,190,849 円		1,190,849 円		R4.4.1 ~ R5.3.31
■事業の目的・効果				
新型コロナ感染症対策として、夜間緊急外来受診者等の移動手段を確保する。				
■交付金を充当する経費内容				
士別市立病院事業会計に繰り出し、ハイヤー営業時間外となる午前2時～6時までの臨時運行対応にかかる費用を交付対象とする。				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
士別市立病院事業会計				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
ハイヤー営業時間外となった午前2時～6時の時間帯において、救急外来受診患者の移動手段及び呼出し職員の必要時に対応するよう、(株)士別ハイヤーに臨時運行業務を委託した。 ○夜間救急外来送迎業務 ・契約締結: 令和4年4月1日 ・契約金額: 1,190,849円(2,966円/日×365日+消費税) ・年間運行件数: 74件				
②事業の効果・検証				
救急外来受診患者の移動手段、緊急呼出し発生時の職員の足の確保が図られた。				
③成果目標				
目標	ハイヤー事業者1社に支援した士別市立病院事業会計への繰り出し			
実績	呼び出しによる年間運行件数: 74件発生			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

17	事業名 (実施計画記載事業)	士別市立病院事業会計繰出・補助(病棟受付感染対策事業)		
	担当部署	市立病院総務課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
2,346,161 円		2,346,161 円		R4.4.1 ~ R5.3.31
■事業の目的・効果				
新型コロナ感染症対策として、面会制限期間における病棟受付対応の体制拡充を図る。				
■交付金を充当する経費内容				
士別市立病院事業会計に繰り出し、面会制限期間における病棟受付対応スタッフ1名の人件費を交付対象とする。				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
士別市立病院事業会計				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
院内感染対策として病棟への面会制限、職員への来客制限等を実施するため、受付対応する専従スタッフを配置した。 ・会計年度任用職員(パートタイム)1人を雇用 ・年間人件費(報酬・手当・法定福利費)2,346,161円				
②事業の効果・検証				
病棟を中心に院内への不特定多数の人の流入を制限し、感染予防対策に寄与した。				
③成果目標				
目標	平日の日中帯(8:30~17:00)に訪れる病棟入院患者家族等の対応。30件/日程度発生			
実績	入院患者家族をはじめとした来客に1日あたり20~40件(平日の日中帯)の対応を行った。			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

18	事業名 (実施計画記載事業)	救急業務等感染防止対策事業																														
	担当部署	消防本部総務課																														
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期																												
5,052,789 円		5,052,789 円		R4.4.18 ~ R5.3.17																												
■事業の目的・効果																																
救急・救助業務や防疫作業に従事する隊員の感染リスクの軽減を講じる為消耗品の購入、組織維持において職員向けに検査キットを購入する。さらに感染者に対する救急訓練及び訓練時における感染防止対策が可能なシミュレーターを購入し感染対策を講じる。																																
■交付金を充当する経費内容																																
需用費、役務費、委託料、備品購入費																																
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																																
士別地方消防事務組合消防署																																
■事業の成果・実績																																
①事業の経過及び実施状況																																
業務中における新型コロナウイルス感染症に対する感染防止及び消毒のため、必要な資機材を購入した。訓練中における職員間の接触を軽減する目的として、高度救命処置シミュレーターを購入した。																																
<table border="0"> <tr> <td>R4.4.22 感染防止衣上下(救助用)各100着 契約締結</td> <td>・管理課消耗品(アルコール、マスク、抗原検査キット)</td> </tr> <tr> <td>R4.6.16 高性能感染防止衣2着 契約締結</td> <td>582,403円</td> </tr> <tr> <td>R4.6.17 高度救命処置シミュレーター1式 契約締結</td> <td>・救急課消耗品(エタノール、マスク、グローブ等)</td> </tr> <tr> <td>R4.7.27 感染防止衣上下(救助用)各100着 納品</td> <td>872,406円</td> </tr> <tr> <td>R4.8.13 感染防止衣上下(救急用)各120着 契約締結</td> <td>・救助資器材消耗品(感染防止衣)</td> </tr> <tr> <td>R4.9.20 高度救命処置シミュレーター1式 納品</td> <td>220,000円</td> </tr> <tr> <td>R4.10.5 高性能感染防止衣2着 納品</td> <td>・高性能感染防止衣</td> </tr> <tr> <td>R4.12.12 COVID-19抗原迅速テスト200テスト 契約締結</td> <td>140,580円</td> </tr> <tr> <td>R4.12.14 COVID-19抗原迅速テスト200テスト 納品</td> <td>・クリーニング(毛布、感染防止衣等)</td> </tr> <tr> <td>R4.12.16 感染防止衣上下(救急用)各120着 納品</td> <td>142,000円</td> </tr> <tr> <td>R4.12.21 感染防止衣上下(救急用)各60着 契約締結</td> <td>・感染性廃棄物処分委託料</td> </tr> <tr> <td>R5.3.3 感染防止衣上下(救急用)各60着 納品</td> <td>221,100円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高度救命処置シミュレーター 計 5,052,789円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,874,300円</td> </tr> </table>					R4.4.22 感染防止衣上下(救助用)各100着 契約締結	・管理課消耗品(アルコール、マスク、抗原検査キット)	R4.6.16 高性能感染防止衣2着 契約締結	582,403円	R4.6.17 高度救命処置シミュレーター1式 契約締結	・救急課消耗品(エタノール、マスク、グローブ等)	R4.7.27 感染防止衣上下(救助用)各100着 納品	872,406円	R4.8.13 感染防止衣上下(救急用)各120着 契約締結	・救助資器材消耗品(感染防止衣)	R4.9.20 高度救命処置シミュレーター1式 納品	220,000円	R4.10.5 高性能感染防止衣2着 納品	・高性能感染防止衣	R4.12.12 COVID-19抗原迅速テスト200テスト 契約締結	140,580円	R4.12.14 COVID-19抗原迅速テスト200テスト 納品	・クリーニング(毛布、感染防止衣等)	R4.12.16 感染防止衣上下(救急用)各120着 納品	142,000円	R4.12.21 感染防止衣上下(救急用)各60着 契約締結	・感染性廃棄物処分委託料	R5.3.3 感染防止衣上下(救急用)各60着 納品	221,100円		・高度救命処置シミュレーター 計 5,052,789円		2,874,300円
R4.4.22 感染防止衣上下(救助用)各100着 契約締結	・管理課消耗品(アルコール、マスク、抗原検査キット)																															
R4.6.16 高性能感染防止衣2着 契約締結	582,403円																															
R4.6.17 高度救命処置シミュレーター1式 契約締結	・救急課消耗品(エタノール、マスク、グローブ等)																															
R4.7.27 感染防止衣上下(救助用)各100着 納品	872,406円																															
R4.8.13 感染防止衣上下(救急用)各120着 契約締結	・救助資器材消耗品(感染防止衣)																															
R4.9.20 高度救命処置シミュレーター1式 納品	220,000円																															
R4.10.5 高性能感染防止衣2着 納品	・高性能感染防止衣																															
R4.12.12 COVID-19抗原迅速テスト200テスト 契約締結	140,580円																															
R4.12.14 COVID-19抗原迅速テスト200テスト 納品	・クリーニング(毛布、感染防止衣等)																															
R4.12.16 感染防止衣上下(救急用)各120着 納品	142,000円																															
R4.12.21 感染防止衣上下(救急用)各60着 契約締結	・感染性廃棄物処分委託料																															
R5.3.3 感染防止衣上下(救急用)各60着 納品	221,100円																															
	・高度救命処置シミュレーター 計 5,052,789円																															
	2,874,300円																															
②事業の効果・検証																																
感染対策に係る消耗品を不足することなく購入することで安心して消防業務に従事することができた。さらに、業務中の罹患及び職場内クラスターの発生防止を徹底することができた。また、高度救命処置シミュレーターを導入したことで、訓練中においても実施者と評価者の接触を軽減することができ、罹患傷病者を想定した訓練を行えた。																																
③成果目標																																
目標	隊員への感染防止及び職場内クラスターの防止を徹底 消防業務内での感染者発生0件																															
実績	消防業務内での罹患者はいなく、職場内クラスターの発生もなかった。																															
■備考																																

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

19	事業名 (実施計画記載事業)	次世代モビリティビジョン推進事業		
	担当部署	総務部企画課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
5,150,000 円		5,150,000 円		R4.4.1 ~ R5.3.31
■事業の目的・効果				
ウィズコロナに対応した「持続可能な公共交通の維持」を目的とする土別市次世代モビリティビジョンに掲げる、「感染症への対応」「デジタル化の推進」「交通結節点の整備、環境向上」「協働と連携によるシームレスモビリティ」の実現に向けた実証実験の実施。				
■交付金を充当する経費内容				
有識者謝礼、実証実験費、事業者への応援金				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
有識者、土別市公共交通活性化協議会、交通事業者				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
次世代モビリティビジョン推進に向けた取り組みとして、「次世代モビリティ推進会議」において公共交通に関する有識者の意見を聴取しつつ、実証実験を行った。 ・次世代モビリティ推進会議議長(公共交通有識者)謝礼 150,000円 ・次世代モビリティ推進会議実証実験費用 1,000,000円 「土別市次世代モビリティビジョン推進のための連携確認」を取り交わした交通事業者に対し、地域の移動を支えるための経営持続化に資する車両の入れ替えや施設管理の効率化、快適な移動等に関する取り組みに要する経費の一部を支援した。 ・市内バス事業者(バス車両入れ替え) 3,000,000円 ・市内タクシー事業者(福祉車両導入) 1,000,000円				
②事業の効果・検証				
・実証実験を行うことにより、バスとタクシーといった異なる公共交通の連携の可能性や、子どもの習い事への支援による、子育て世帯への公共交通の利用促進への検証を行うことができた。 ・バス事業所やタクシー事業所の車両を整備することで、公共交通の効率化・利用促進が図られた。				
③成果目標				
目標	次世代モビリティビジョン推進に向けた実証実験の実施回数2回			
実績	次世代モビリティビジョン推進に向け、2種類の実証実験を行った。 ・習い事応援タクシー実証実験 ・バス、タクシー共通利用チケットの販売			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

20	事業名 (実施計画記載事業)	ホームページ情報発信強化事業		
	担当部署	市民自治部自治環境課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
21,742,600 円		21,742,600 円		R4.4.8 ~ R5.3.31
■事業の目的・効果				
コロナ感染対策などの情報をより多くの市民に届けるため、アクセス性向上や正確かつ分かりやすい発信など、ホームページでの情報発信を強化し、コロナ禍における住民サービスの向上を図る。また、アフターコロナを見据え、魅力あるまちの発信により地域活性化をめざす。				
■交付金を充当する経費内容				
ホームページリニューアル等業務委託料への充当				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
士別市				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況 ホームページのリニューアルを行い、情報発信を強化しコロナ禍における住民サービスの向上を図った。 R4.4.8~ 士別市ホームページリニューアル等業務 プロポーザルによる業務委託事業者の選定実施 R4.6.13 プロポーザル審査結果公表 R4.7.25 士別市ホームページリニューアル等業務 委託契約締結 契約金額: 20,356,600円 R4.9.7 士別市ホームページリニューアル等業務 委託変更契約締結 変更後契約金額: 21,742,600円 (サブサイト数、写真撮影枚数増に伴う変更) R5.2.15 新ホームページ公開 R5.3.31 士別市ホームページリニューアル等業務完了				
②事業の効果・検証 コロナ禍における加速された情報通信環境の多様化に対応し、コロナ感染対策情報をより多くの市民に届けるため、ホームページのリニューアルを行い、その情報に特化した新型コロナのサブサイトを構築しつつ、スマートフォンなど様々なデバイスで快適に閲覧できるようにしたことにより、必要な情報を速やかに入手できる環境となった。アクセシビリティに関しては、ウェブアクセシビリティ規格『JIS X 8341-3:2016』に基づくレベルAを達成した。また、ユーザビリティの対応として、ゲートページの設置と、子育て、魅力、合宿、病院、市議会などといったサブサイトも作成し、コロナ禍はもとよりアフターコロナを見据えた情報発信が可能な「見やすい、探しやすい、わかりやすい、魅力が伝わる」サイトを構築した。特に、新型コロナについて5類移行後も感染状況の独自基準を設け、速やかに発令することを可能としている。 ①ウェブアクセシビリティ試験結果～ウェブアクセシビリティ規格『JIS X 8341-3:2016』に基づくレベルAを達成 ②サイト閲覧数～約27万件(1日平均約5,800件) ③サブサイト数～12				
③成果目標				
目標	ホームページのリニューアル1回			
実績	ホームページのリニューアル1回			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

21	事業名 (実施計画記載事業)	事業者復活サポート応援金事業		
	担当部署	経済部商工労働観光課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
6,481,400 円		6,481,400 円		R4.4.12 ~ R4.7.14
■事業の目的・効果				
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対し、事業回復のための応援金を支給する。				
■交付金を充当する経費内容				
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者への応援金				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
市内事業者				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業収入が比較対象期間に対し10%以上30%未満減少した事業者に対し、事業回復のための応援金20万円を支給した。 R4.4.22 応援金申請受付開始 R4.6.30 応援金申請受付終了 応援金交付件数 32件 応援金交付総額 6,400千円 事業広告料 81千円				
②事業の効果・検証				
交付先事業所からは、「経営維持の一助となった」などの声があり、国の「事業復活支援金」の該当とはならない事業者の経営維持や事業回復に寄与することができた。				
③成果目標				
目標	支援事業所実績数 32事業所			
実績	応援金交付件数 32件			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

22	事業名 (実施計画記載事業)	地域活性化応援ポイント事業																				
	担当部署	経済部商工労働観光課																				
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期																		
31,278,725 円		21,479,429 円		R4.9.12 ~ R5.3.2																		
■事業の目的・効果																						
長引くコロナ禍における消費拡大や原油価格・物価高騰の影響を受け、疲弊する地域経済の回復を目的に、地元商店等で使用できる地域ポイントを発行し、地域内での経済の好循環を図る。																						
■交付金を充当する経費内容																						
プレミアム分に対する支援額及び取り扱い事務費																						
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																						
市民																						
■事業の成果・実績																						
①事業の経過及び実施状況																						
コロナ禍における消費拡大や原油価格・物価高騰の影響を受け、疲弊する地域経済の回復を目的に、地元商店等で使用できる3,000円分のプレミアムポイントを上乗せしたポイントカードを10,000円で販売した。																						
<table border="0"> <tr> <td>R4.12.1</td> <td>プレミアムポイント販売・利用開始</td> </tr> <tr> <td>R4.12.16</td> <td>プレミアムポイント販売終了</td> </tr> <tr> <td>R5.1.31</td> <td>プレミアムポイント利用期限</td> </tr> <tr> <td>取扱店</td> <td>91店</td> </tr> <tr> <td>換金率</td> <td>99.40%</td> </tr> <tr> <td>換金額</td> <td>127,390,858円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>2,433,577円</td> </tr> <tr> <td>プレミアム経費</td> <td>28,845,148円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※交付金対象事業費:31,278,725円</td> </tr> </table>					R4.12.1	プレミアムポイント販売・利用開始	R4.12.16	プレミアムポイント販売終了	R5.1.31	プレミアムポイント利用期限	取扱店	91店	換金率	99.40%	換金額	127,390,858円	事務費	2,433,577円	プレミアム経費	28,845,148円	※交付金対象事業費:31,278,725円	
R4.12.1	プレミアムポイント販売・利用開始																					
R4.12.16	プレミアムポイント販売終了																					
R5.1.31	プレミアムポイント利用期限																					
取扱店	91店																					
換金率	99.40%																					
換金額	127,390,858円																					
事務費	2,433,577円																					
プレミアム経費	28,845,148円																					
※交付金対象事業費:31,278,725円																						
②事業の効果・検証																						
市民からは、「年末年始の買い物に使わせてもらえてよかった」「暖房費用に充てることができた」など、プレミアムポイントの発行により、住民の市内消費の促進や地域経済の回復に寄与することができた。 販売目標が未達成について、長引くコロナ禍に起因する購買力の低下が一因であるとともに、食料品や日用品を取り扱う大型スーパーやドラッグストアにおいて、デジタルポイントが利用できなかったことが大きな要因と考えられる。																						
③成果目標																						
目標	チケット販売数12,700セット																					
実績	チケット販売数9,856セット																					
■備考																						

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「地域活性化応援ポイント事業」
実施結果について ～商品券(紙媒体)と地域ポイント(デジタル媒体)による実施結果の比較～

1. 事業概要

新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響による家計のひっ迫や疲弊する市内経済の回復を目的に、地元商店等で使用できるプレミアム付商品券(地域ポイント)を発行する。

下記のとおり、令和2年度と令和4年度に実施した事業について、比較検証

〈R2年度実施事業〉地域活性化プレミアム付商品券事業（以下、「商品券事業」とする。）

- ・販売期間:令和2年12月10日～令和2年12月18日
- ・利用期間:令和2年12月10日～令和3年2月28日
- ・発行媒体:商品券(紙媒体)
- ・プレミアム率:130% 1セット 10,000 円の購入でプレミアム分 3,000 円分を上乗せ
- ・取扱加盟店:255店舗
- ・利用店舗実績:180店舗
- ・販売数:12,643 セット(1世帯につき1万円×2セットまで購入可)
対象世帯:9,240 世帯
購入世帯:6,407 世帯(69%)
- ・利用実績額:172,097,000 円 (換金率:98.7%)
- ・臨時交付金活用額:27,046,229 円(うち事務費3,048,574 円)

〈R4年度実施事業〉地域活性化応援ポイント事業（以下、「デジタルポイント事業」とする。）

- ・販売期間:令和4年12月1日～令和4年12月16日
- ・利用期間:令和4年12月1日～令和5年1月31日
- ・発行媒体:サフォークポイントカード(デジタル媒体)
- ・プレミアム率:130% 1セット 10,000 円の購入でプレミアム分 3,000 ポイント上乗せ
- ・取扱加盟店:91 店舗
(サフォークポイントカード取扱店拡大にむけ、HP、新聞広告等で募集を行い9店舗増
百貨店ほか)
- ・利用店舗実績:83店舗
- ・販売数:9,856 枚(1世帯につき1万円×2枚まで購入可)
対象世帯:9,068 世帯
購入世帯:5,061世帯(56%)
- ・利用実績額:127,390,858 円 (換金率:99.4%)
- ・臨時交付金活用額:21,479,429 円(うち事務費 2,433,577 円)

※業種別利用実績額の対比は、資料2のとおり

2. デジタルポイントの活用について～商品券との利用実績比較（資料2, 3参照）

（1）主な業種ごとの利用状況

① 食料品店

商品券事業による利用が 7,576 万円に対し、デジタルポイント事業が 501 万円と大きく差が開く結果となった。大型スーパーでデジタルポイントが利用できないことが要因となったが、一方で食料品の取り扱いがある百貨店で利用が集中した。また、商品券事業と比較し、その他の店舗（燃料店や菓子店、生花店、衣料店、家具・装飾店や寝具店、印刷、靴・スポーツ用品店等）での利用額増加がみられた。

② 百貨店

デジタルポイント事業による利用が7,102 万円に対し、商品券事業が3,841万円と大きく差が開く結果となった。大型スーパーやドラッグストア、ホームセンター、コンビニでデジタルポイントが利用できないことから百貨店で利用が集中した。また、商品券事業と比較し、個人店など小規模店舗での利用額増加がみられた。

③ くすり・化粧品

商品券事業による利用が 1,545 万円に対し、デジタルポイント事業が 152 万円と大きく差が開く結果となった。ドラッグストアでデジタルポイントが利用できないことが要因となったが、一方で日用品等を取り扱う百貨店で利用が集中した。また、商品券事業と比較し、個人店など小規模店舗での利用額増加がみられた。

④ 燃料店

デジタルポイント事業による利用が2,704万円に対し、商品券事業が1,487万円となった。コロナ禍に加えて、原油価格・物価高騰による影響が大きく、令和4年度に実施したデジタルポイント事業による利用が増加する結果となった。また、大型スーパーやドラッグストア等でデジタルポイントが利用できないことも影響し、燃料店等の個人店への利用が増加した。

（2）考察

利用実績について、令和2年度に実施した紙媒体による商品券事業が令和4年度に実施したデジタルポイント事業を販売数、販売額で上回る結果となった。また、購入した世帯数を見ると商品券事業においては、全世帯数の 69%が購入しているのに対し、デジタルポイント事業は、56%と販売数が減少する結果となった。これは、長引くコロナ禍に起因する購買力の低下が要因であるとともに、食料品や日用品を取り扱う大型スーパーやドラッグストアにおいて、デジタルポイントが利用できなかったことが大きな要因と考えられる。

購買先の分布として、紙媒体である商品券事業では、大型スーパー、百貨店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニへの利用が集中し、大型店やチェーン店への消費の偏りが大きくみられた。一方でデジタルポイント事業では、取扱加盟店が少ないことが課題ではあるが、大型店やチェーン店の参入が少ないことから個人店など小規模店舗での購買が増加しており、利用額全体の割合をみると、商品券事業が 29%に対し、デジタルポイント事業は、44%となり、小規模店への購買促進へつながる結果となった。

国の商業動態統計(経済産業省)における、小売業の業態別販売額をみると、スーパー、ドラッグストア、コンビニ等は、コロナ禍においても販売額が増加しており、その他小規模店舗では、売上が大きく減少している傾向がある。

このことから疲弊している事業者への支援という視点でみると、今回実施したデジタルポイント事業は、百貨店を除く大型店の参入がなかったことが、結果的に、個人店などの小規模店舗での購買へつながることとなった。

しかしながら、市民の生活支援という視点では、食料品や日用品の購買需要が大きいことから、大型店の加盟推進について、検討していく必要がある。

今回、プレミアム付商品券をデジタルポイントで実施することは、初の試みとなったが、国が掲げるデジタル社会の実現にむけた対応のひとつとなること、また、経費削減や事務作業の効率化、コロナ禍における緊急時の迅速な対応など、メリットも大きいことから、今後は、市民への支援、事業者への支援という両面の効果を考慮したなかで、状況に応じた実施を検討していくこととする。

3. 今後のデジタルポイントの活用について

市では、市内経済の好循環をめざし、令和4年度から地域経済循環分析を進めており、市民の消費に対する行動変容や意識醸成にむけた取り組みを推進している。

消費に対する市民意識の醸成にあたっては、本市独自のデジタル地域ポイント(サフォークポイント)の活用が有効であり、さらなる利便性の向上と加盟店の確保が課題となる。加盟店については、徐々に増加しているが、今後、さらに増やしていくためには、行政の積極的なポイント活用と市民周知が必要となる。市内経済の好循環をめざすことを目的とした市民会議(R5.8月設置)では、市内経済活性化のためには、今ある既存の市の事業も含め地域ポイントを積極的に活用すべきとの多くの意見があった。

今後については、令和5年度地域経済循環分析結果や市民会議での意見を踏まえ、地域ポイントの利用拡大を検討するとともに、あわせてデジタル地域通貨の導入がもたらす経済効果について、長期的な調査・研究を進めていくこととする。

令和4年度地域活性化応援ポイント事業・地域活性化プレミアム付商品券事業【利用実績比較】

円

分 類	①ポイント交付	②商品券交付	差 額（①－②）
食料品店	5,013,701	75,764,000	-70,750,299
総合店	71,022,721	38,419,000	32,603,721
くすり・化粧品	1,523,714	15,453,000	-13,929,286
燃料	27,049,653	14,879,000	12,170,653
飲食店	4,217,739	4,472,000	-254,261
ホテル・旅館	1,031,174	3,202,000	-2,170,826
持ち帰り・配達飲食サービス	796,344	3,005,000	-2,208,656
パン・菓子	4,474,972	2,751,000	1,723,972
新聞販売	0	1,769,000	-1,769,000
寿司	1,568,784	1,476,000	92,784
書籍・文房具・事務機器	486,492	1,037,000	-550,508
生花	1,465,464	1,031,000	434,464
衣料品	1,660,447	1,016,000	644,447
理容・美容	435,756	966,000	-530,244
車関連・農機具	0	803,000	-803,000
玩具	653,470	796,000	-142,530
電気製品	598,677	636,000	-37,323
土木・建築・設備	503,497	585,000	-81,503
時計・メガネ・貴金属	0	555,000	-555,000
酒屋	711,659	542,000	169,659
スナック	144,902	468,000	-323,098
その他	787,446	426,000	361,446
家具・装飾	972,228	405,000	567,228
バス・タクシー	0	278,000	-278,000
クリーニング	386,054	258,000	128,054
金物	260,527	238,000	22,527
仏壇・仏具	190,093	209,000	-18,907
寝具	547,398	164,000	383,398
写真・カメラ	95,904	149,000	-53,096
喫茶	0	94,000	-94,000
茶・陶器	177,364	93,000	84,364
印刷	318,343	55,000	263,343
靴・スポーツ用品	296,335	52,000	244,335
カー用品・タイヤ	0	51,000	-51,000
合計	127,390,858	172,097,000	-44,706,142

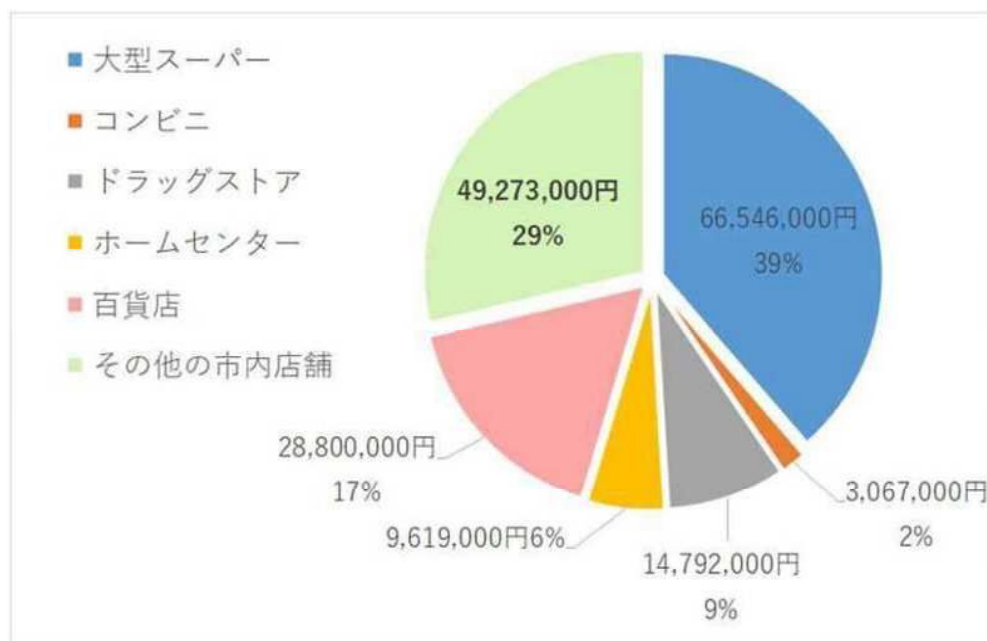
商品券・デジタルポイント 利用額比較

◇利用先店舗を6項目に分類

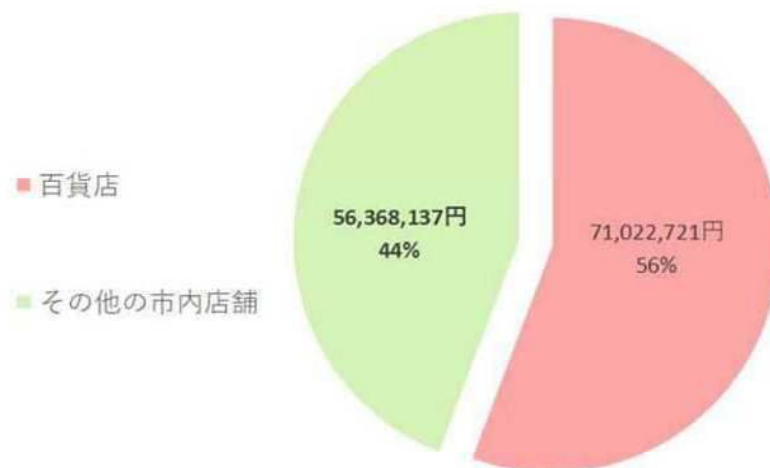
〈大型スーパー〉〈コンビニ〉〈ドラッグストア〉〈ホームセンター〉
〈百貨店〉〈その他の市内店舗〉

商品券は、全6項目の店舗で利用可能、応援ポイントは〈百貨店〉〈その他の市内店舗〉のみ利用可能となっている。

【商品券利用額分布：利用総額 172,097,000 円】



【デジタルポイント利用額分布：利用総額 127,390,858 円】



商品券のみが利用可能であった〈大型スーパー〉〈コンビニ〉〈ドラッグストア〉〈ホームセンター〉で、商品券利用額合計：172,097,000 円のうち、55%の 94,024,000 円が利用されています。

また、その他の市内店舗にて利用されている額は、49,273,000 円で全体の 29%となっている。

種別	利用額	占有率
大型スーパー	66,546,000	39%
コンビニ	3,067,000	2%
ドラッグストア	14,792,000	9%
ホームセンター	9,619,000	6%
百貨店	28,800,000	17%
その他の市内店舗	49,273,000	29%
合計	172,097,000	100.0%

デジタルポイントでは、上記〈大型スーパー〉等の利用はできなかったため、百貨店への利用に振り替わっており全体の 56%となっている。

商品券利用額：28,800,000 円 ⇒ デジタルポイント利用額：71,022,721 円となり、42,222,721 円の増

また、一部の消費はその他の市内店舗にも振り替わっており、全体の 44%となっている。

商品券利用額：49,273,000 円 ⇒ デジタルポイント利用額：56,368,137 円となり、7,095,137 円の増

種別	利用額	占有率
百貨店	71,022,721	56%
その他の市内店舗	56,368,137	44%
合計	127,390,858	100.0%

以上のように、消費者は「普段利用している大型スーパーなどで利用したい意向」があるため、デジタルポイント実施時に幅広い商品を販売する百貨店に移行している。

また、販売総額が比較して少ないデジタルポイント事業において、その他の市内店舗での利用額が増加していることから、市内事業者への支援としては一定の効果があったのではないかと推察される。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

23	事業名 (実施計画記載事業)	泊まって応援ポイント事業		
	担当部署	経済部商工労働観光課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
4,923,500 円		4,923,500 円		R4.9.20 ~ R5.3.27
■事業の目的・効果				
コロナ禍において、国及び道が実施する「HOKKAIDO+LOVE！割」(全国旅行支援)の実施と合わせた地域への誘客を図る取り組みとして実施する。				
■交付金を充当する経費内容				
地域ポイントとして配布				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
事業者、宿泊者				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況 【助成内容】 ・応援ポイントカードの配布 ・応援ポイント:市内加盟店で利用できるポイントカードを配布 1泊3,000ポイント(上限2泊6,000ポイント)を配布 1,500泊分 合計4,500,000円分 4,500枚のクーポン券を10店舗の宿泊事業者へ配布 【事業期間】 ・ポイント配布期間: R5.1.6～R5.2.23 ・ポイント有効期限: R5.2.28 【事業の流れ】 ・宿泊施設 ⇒ 宿泊者に対しポイントカード(1,000円×3枚)を配布及びカード取り扱い方法と利用できる店舗情報を合わせたチラシを配布 ・利用店舗 ⇒ ポイントカードを1,000円分の金券として受け取り、まちづくり士別株式会社にて換金を行う ・換金業務 ⇒ まちづくり士別株式会社が店舗から受け取ったポイントカードを集計し、各利用店舗に対し振込にて換金を行う ・R4.12.16～R4.12.26 ポイントカード利用店募集 ・R4.12.28 対象宿泊施設、カード利用店舗への事業説明 ・R5.1.6 換金業務契約 まちづくり士別株式会社 ・事務費 2.5(業務時間)×60(業務日数)×2(人工)×920(時給)×1.10 ⇒ 303,600円 ・ポイントカード換金分 1回目:2,269,000円 2回目:2,055,000円 ⇒ 4,324,000円 ・ポイントカード購入分 222,750円 ・振込手数料 ⇒ 7,150円 ・広告料 ⇒ 66,000円 合計:4,923,500円				
②事業の効果・検証 4,500枚配布したクーポン券も4,324枚の換金があり、多くの方に市内参加店舗に足を運んでもらうことができ、地域経済の回復に貢献できた。				
③成果目標				
目標	令和3年度12月から1月における宿泊者数の10%増加			
実績	令和3年度1月から2月の宿泊者数 令和3年度:5,990人、令和4年度:6,444人 増加率:7.58%			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

24	事業名 (実施計画記載事業)	がんばろう！みんなの商店街事業		
	担当部署	経済部商工労働観光課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
2,380,041 円		2,380,041 円		R4.7.11 ~ R5.3.2
■事業の目的・効果				
地域で暮らす消費者が「地元」や「商店街」の良さを再認識するきっかけとなる従来までとは違った新しい取り組みに対して支援する。新型コロナの影響により疲弊した地域に活気を取り戻していくことを通じて商店街の活性化を図る。				
■交付金を充当する経費内容				
事業開催経費				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
商店街組織等				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
商店街組織等が実施する各種イベントを支援した。 R4.8.1～8.31 商店街活性化事業 R4.8.8～8.25 朝日商店街振興事業 R4.10.1～10.31 中心市街地活性化事業 商店街活性化事業 1,780,041円 朝日商店街振興事業 100,000円 中心市街地活性化事業 500,000円				
②事業の効果・検証				
各種イベントの支援をすることで、「地元」や「商店街」の良さを再認識するためのきっかけづくりと街の活性化に貢献できた。				
③成果目標				
目標	商店街事業として3事業の開催を見込み。			
実績	支援対象イベント 3イベント			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

25	事業名 (実施計画記載事業)	みんなの新たなチャレンジ応援金事業				
	担当部署	経済部商工労働観光課				
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期		
9,165,000 円		9,165,000 円		R4.7.5 ~ R5.3.20		
■事業の目的・効果						
コロナ禍において、これまでとは違う新分野展開や事業・業種転換等の取り組みを行う事業者の新たなチャレンジを応援し、地域活性化を図る。						
■交付金を充当する経費内容						
事業対象経費(各補助金)						
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)						
市内事業者						
■事業の成果・実績						
①事業の経過及び実施状況						
コロナ禍における、「新規開業」「店舗改修」「新サービス展開」に対して応援金を交付した。 R4.7.5 申請受付開始 R4.12.28 申請受付締切 <table border="0"> <tr> <td> ・新規開業チャレンジ応援金 応援対象: 5件 合計応援額: 8,347,000円 うち、2件は新規創業者応援枠対象 ・店舗改修チャレンジ応援金 応援対象: 1件 合計応援額: 618,000円 ・新サービスチャレンジ応援金 応援対象: 1件 合計応援額: 200,000円 </td> <td> ・新規開業チャレンジ応援金 2,000千円(上限) ・新規創業者応援枠 300千円(上限) ・店舗改修チャレンジ応援金 1,000千円(上限) ・新サービスチャレンジ応援金 200千円(上限) </td> </tr> </table>					・新規開業チャレンジ応援金 応援対象: 5件 合計応援額: 8,347,000円 うち、2件は新規創業者応援枠対象 ・店舗改修チャレンジ応援金 応援対象: 1件 合計応援額: 618,000円 ・新サービスチャレンジ応援金 応援対象: 1件 合計応援額: 200,000円	・新規開業チャレンジ応援金 2,000千円(上限) ・新規創業者応援枠 300千円(上限) ・店舗改修チャレンジ応援金 1,000千円(上限) ・新サービスチャレンジ応援金 200千円(上限)
・新規開業チャレンジ応援金 応援対象: 5件 合計応援額: 8,347,000円 うち、2件は新規創業者応援枠対象 ・店舗改修チャレンジ応援金 応援対象: 1件 合計応援額: 618,000円 ・新サービスチャレンジ応援金 応援対象: 1件 合計応援額: 200,000円	・新規開業チャレンジ応援金 2,000千円(上限) ・新規創業者応援枠 300千円(上限) ・店舗改修チャレンジ応援金 1,000千円(上限) ・新サービスチャレンジ応援金 200千円(上限)					
②事業の効果・検証						
本事業の実施により、新規開業者や新たなサービス展開の支援により、地域の活性化に貢献できた。 目標未達成について、コロナの収束に向かって新たなサービス展開から、従来事業の回復に視点がおかれたことによるものと考えられる。						
③成果目標						
目標	新規起業や新しいサービス提供などを実施する事業者18事業所					
実績	合計応援件数 7件					
■備考						

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

26	事業名 (実施計画記載事業)	公立学校環境整備事業		
	担当部署	生涯学習部学校教育課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
7,040,000 円		7,040,000 円		R4.4.27 ~ R4.8.31
■事業の目的・効果				
コロナ禍における「新しい生活様式」に対応するマスク着用による熱中症対策として、空調設備の整備を進め、室内環境の改善を図り、学校施設の安全・安心を実現する。				
■交付金を充当する経費内容				
保健室に空調設備を設置				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
市内小学校(土別小学校・土別南小学校・糸魚小学校・多寄小学校・温根別小学校)				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
・契約締結日 令和4年4月27日契約 ・契約期間 令和4年4月27日から令和4年8月31日まで ・契約金額 7,040,000円 ・工事箇所 市内小学校(土別小学校・土別南小学校・糸魚小学校・多寄小学校・温根別小学校) ・工事内容 市内小学校保健室 冷房設備各1台新設				
②事業の効果・検証				
環境への対応力がまだ育っていない子どもたちが、マスク着用による熱中症などの体調不良となった場合に、空調設備が整った保健室で休むことができたことから、安全・安心な教育環境の提供ができた。				
③成果目標				
目標	各小学校への整備率100%			
実績	市内小学校 既設の1校を含め、全6校に整備 整備率100%			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

28	事業名 (実施計画記載事業)	住民税均等割課税世帯生活支援金給付事業		
	担当部署	健康福祉部福祉課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
53,956,118 円		53,956,118 円		R4.6.1 ~ R5.2.28
■事業の目的・効果				
コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている生活者の支援として、非課税世帯へ支給する国の臨時特別給付金の対象外となる均等割のみ課税される世帯へ支援金を支給し、生活の安定を図る。				
■交付金を充当する経費内容				
支援金及び支給事務費				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
住民税均等割りのみ課税世帯				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
コロナ禍において物価高騰等の影響を受けている生活者の支援として、国が実施した住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の対象外となる住民税均等割のみ課税世帯へ、1世帯あたり10万円の支援金を支給した。 R4.8.22 要綱作成起案・告示 R4.9.2 対象者名簿確認及びシステム動作確認 R4.9.30 デジタル庁に申請していた特定公的給付の指定を受ける R4.10.7 プッシュ型で対象者に確認書を512世帯に送付 R4.10.20 初回振込 R5.1.4 受付終了 R5.2末 実績報告 ・生活支援金 505世帯 50,500,000円 ・事務費 3,456,118円 (生活支援金給付システム改修費 2,750,000円) (会計年度任用職員報酬等 318,720円) (郵送料・振込手数料等 387,398円)				
②事業の効果・検証				
本支援金を給付することで、コロナ禍において物価高騰等の影響を受けている生活者の経済的安定に繋がった。				
③成果目標				
目標	対象世帯への交付率95%以上			
実績	対象世帯への交付率98.6%			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

29	事業名 (実施計画記載事業)	学校給食原材料費高騰対策事業		
	担当部署	生涯学習部学校給食センター		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
1,333,000 円		1,333,000 円		R4.8.19 ~ R4.8.31
■事業の目的・効果				
コロナ禍における物価高騰等の中で、保護者の給食費負担を増やすことなく、これまで通り栄養バランスや量を保ち、地場物産が豊富に活用され充実した学校給食を提供できるよう支援を行う。				
■交付金を充当する経費内容				
士別市水道事業会計に繰り出し、システム改修にかかる費用を交付対象とする。				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
給食物資価格上昇分費用(教職員は除く)				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
物価高騰下においても、保護者負担を増やすことなく、これまでどおり栄養バランス、量、質を保ち、地場農産物が豊富に活用され充実した学校給食の実施を行うことができた。 小学生 752人、中学生453人、東高生20人 R4.8.5 補助金申請 R5.8.14 補助金決定 士別市学校給食会に対し物価上昇率を基に支出 補助額:1,333,000円				
②事業の効果・検証				
食材費の物価高騰相当分を補助することにより、保護者負担を増やすことなく、栄養バランス・量・質を確保した学校給食を児童・生徒に提供することができた。				
③成果目標				
目標	給食物資価格上昇分費用保護者負担0円(給食費)			
実績	給食費を上げることなく、児童生徒に対し栄養バランスなどを確保した学校給食を提供することができた。			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

30	事業名 (実施計画記載事業)	水道事業会計繰出・補助(水道料生活等支援事業)		
	担当部署	建設水道部都市マネジメント課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
28,786,232 円		7,541,831 円		R4.10.1 ~ R5.3.30
■事業の目的・効果				
コロナ禍において物価高騰等に直面する市民及び事業者の経済的負担を軽減する目的に、令和4年10月から改定する水道料金の改定前の料金との差額分を軽減し、水道使用者のさらなる負担増にならないよう支援する。				
■交付金を充当する経費内容				
士別市水道事業会計に繰り出し、水道料金の軽減分及び事務費にかかる費用を交付対象とする。				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
士別市水道事業会計				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
コロナ禍により地域経済が疲弊している状況に加え、物価や燃油価格高騰が市民生活に影響を及ぼしているなか、水道料金の改定が更なる負担増となることを避けるため、水道料金の改定前と改定後の差額分を軽減し、水道事業会計の減収分に対し繰り出した。				
・軽減額				
11月検針分 4,226 件 3,121,240 円				
12月検針分 4,204 件 6,763,363 円				
1月検針分 4,074 件 5,842,768 円				
2月検針分 4,176 件 6,845,285 円				
3月検針分 4,045 件 5,719,522 円				
延べ 20,725 件 28,292,178 円				
・チラシ配布 7,914 件 87,054 円				
・納付書印刷 5,000 セット 149,000 円				
・検針ロール紙 200 巻 258,000 円				
計 28,786,232 円				
②事業の効果・検証				
水道料金の改定前と改定後の差額分を軽減したことで市民及び事業者の経済的負担を軽減することができた。				
③成果目標				
目標	水道料金改定に伴う使用者の負担増0円			
実績	全ての使用者を対象に、延べ20,725件の水道料金を軽減した。			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

34	事業名 (実施計画記載事業)	介護・障がい施設応援金事業																							
	担当部署	健康福祉部介護保険課、福祉課																							
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期																					
35,279,000 円		35,279,000 円		R4.11.14 ~ R5.1.12																					
■事業の目的・効果																									
コロナ禍が継続しているなか、感染者や濃厚接触者の急増により、感染対策経費の増加や休止に伴う収入減などの経営悪化に加え、従事者の不足している現状もあることから、応援金を支給することにより、事業者の安定的な運営と利用者へのサービス提供体制の確保を図る。																									
■交付金を充当する経費内容																									
対象法人(事業者)への応援金交付																									
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																									
市内の介護事業所、障がい者福祉サービス事業所を運営する法人等																									
■事業の成果・実績																									
①事業の経過及び実施状況 コロナ禍の影響や従事者が不足するなか、事業者の安定的な運営と利用者へのサービス提供体制の確保を図るため、応援金の交付を行った。 申請日:令和4年11月8日~11月27日 法人数: 19法人 助成額:35,279,000円 【助成施設】 ●介護保険サービス事業者:16法人 <table border="0"> <tr> <td>・株式会社 さくら企画</td> <td>・株式会社 藤</td> <td>・社会福祉法人 朝日福祉会</td> </tr> <tr> <td>・株式会社 紫苑</td> <td>・福会福祉法人 士別市社会福祉協議会</td> <td>・医療法人社団 三愛会</td> </tr> <tr> <td>・株式会社 C・サポート・アース</td> <td>・株式会社 かしの木</td> <td>・合同会社 コモウェルフェアサポート</td> </tr> <tr> <td>・有限会社 和</td> <td>・株式会社 優和</td> <td>・社会福祉法人 三愛会</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人介護サービスのぽぽん</td> <td>・株式会社 士別ハイヤー</td> <td>・株式会社 北秋</td> </tr> <tr> <td>・士別ケアステップ 合同会社</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ●障がい福祉サービス事業者:3法人 <table border="0"> <tr> <td>・ノースリーフ合同会社</td> <td>・社会福祉法人 士別愛成会</td> <td>・社会福祉法人しべつ福祉会</td> </tr> </table>					・株式会社 さくら企画	・株式会社 藤	・社会福祉法人 朝日福祉会	・株式会社 紫苑	・福会福祉法人 士別市社会福祉協議会	・医療法人社団 三愛会	・株式会社 C・サポート・アース	・株式会社 かしの木	・合同会社 コモウェルフェアサポート	・有限会社 和	・株式会社 優和	・社会福祉法人 三愛会	・NPO法人介護サービスのぽぽん	・株式会社 士別ハイヤー	・株式会社 北秋	・士別ケアステップ 合同会社			・ノースリーフ合同会社	・社会福祉法人 士別愛成会	・社会福祉法人しべつ福祉会
・株式会社 さくら企画	・株式会社 藤	・社会福祉法人 朝日福祉会																							
・株式会社 紫苑	・福会福祉法人 士別市社会福祉協議会	・医療法人社団 三愛会																							
・株式会社 C・サポート・アース	・株式会社 かしの木	・合同会社 コモウェルフェアサポート																							
・有限会社 和	・株式会社 優和	・社会福祉法人 三愛会																							
・NPO法人介護サービスのぽぽん	・株式会社 士別ハイヤー	・株式会社 北秋																							
・士別ケアステップ 合同会社																									
・ノースリーフ合同会社	・社会福祉法人 士別愛成会	・社会福祉法人しべつ福祉会																							
②事業の効果・検証																									
コロナ禍の影響による収入減、費用増加に伴い、事業所では経営状況の悪化が見込まれていたが、応援金の支給により収支が改善された他、各種手当、慰労金の支給など、従事者の定着に資する取り組みの実施により、安定的な運営と提供体制の確保が図られた。																									
③成果目標																									
目標	対象となる全法人への支援(19法人)																								
実績	対象となる全法人への支援(19法人)																								
■備考																									

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

35	事業名 (実施計画記載事業)	原油価格高騰対策家庭応援事業		
	担当部署	総務部企画課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
95,862,169 円		82,375,169 円		R4.9.2 ~ R5.3.30
■事業の目的・効果				
コロナ禍における原油価格の高騰による市民負担を軽減するため、全世帯に対し燃料券(灯油・ガソリン等)を配付する。				
■交付金を充当する経費内容				
燃料券及び事務費				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
市民(全世帯)				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
令和4年9月1日を基準日として、市内在住の世帯に1万円分(2,500円×4)の燃料券(灯油・ガソリン等)を配布した。 ○基準日: 令和4年9月1日 ○対象世帯数 9,051世帯 【実績】 ・燃料券の発行枚数 9,051世帯×4枚=36,204枚 ・燃料券の利用枚数 34,657枚(利用率:95.7%)				
②事業の効果・検証				
コロナ禍における原油価格の高騰による市民負担軽減の一助となった。				
③成果目標				
目標	燃料券利用率80%以上			
実績	燃料券利用率 95.7%			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

36	事業名 (実施計画記載事業)	農林業物価高騰対策応援金事業		
	担 当 部 署	経済部農業振興課・畜産林務課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ～ 事業終期
78,909,439 円		78,909,439 円		R4.11.1 ～ R5.2.28
■事業の目的・効果				
新型コロナウイルス感染拡大に起因する農林業の生産活動に不可欠な原油価格、物価の高騰により生産者の経営安定に影響をもたらしていることから光熱動力・肥料・飼料の一部を支援することで、農林業経営の安定化を図る。				
■交付金を充当する経費内容				
応援金				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
農業(耕種・酪農・畜産)510経営体、林業7事業体				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
交付対象者が、農業と林業に分かれていることから、2つの事業で各々実施した。				
〈士別市農業物価高騰対策応援金〉				
営農している農業者に対して、個人の場合は令和3年分の税申告、法人の場合は令和3年度の税申告において農業経費として計上した肥料費、飼料費、動力光熱費の3分の2の金額に対し、令和4年1～8月までの農林水産統計による農業物価指数の平均物価上昇率を乗じた合計額の2分の1を給付した。また、新規就農してから1年未満の者には、開業月から計上した営農用の動力光熱費に対して、開業月から8月までの農林水産統計による農業物価指数の平均物価上昇率を乗じた合計額の2分の1を給付した。(共に給付額1万円以上、上限30万円)				
〈士別市林業物価高騰対策応援金〉				
市内の林業事業体に対して、令和4年4月から10月の動力光熱費に前年同月との平均物価上昇率を乗じた合計額の2分の1を給付した。(給付額1万円以上、上限30万円)				
士別市農業物価高騰対策応援金は、申請者に対してR4.12.26、R5.1.26、R5.2.16の3回に分けて応援金を支給した。				
士別市林業物価高騰対策応援金は、申請者に対してR4.12.28、R5.1.26の2回に分けて応援金を支給した。				
・会計年度任用職員募集に関する新聞広告 11,000 円				
・コピー用紙ほか消耗品費 27,439 円				
・応援金支給額 78,871,000 円 計 78,909,439 円				
②事業の効果・検証				
新型コロナウイルス感染拡大の長期化に加え、原油価格、物価の高騰により経営安定に影響をもたらしている市内の農林業者に対し、物価高騰に対する応援金を給付することにより、市内産業の振興を図ることができた。				
・応援金対策応援金支給者 農業370経営体、林業7経営体				
・物価高騰に伴う充足率 農業15.16%(支給額 76,955,000円 / 物価高騰影響額 507,502,349円)				
林業34.8%(支給額 1,616,000円 / 物価高騰影響額 4,648,521円)				
③成果目標				
目標	交付対象者の営農(業)継続 100%			
実績	交付対象者の営農(業)継続 98.94%(見込)			
■備 考				
令和5年度も市内で営農(業)することが助成要件の1つであったが、離農したことが確認されたため、今後応援金の返還処理を行う。				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

37	事業名 (実施計画記載事業)	エネルギー価格高騰対策応援金事業		
	担当部署	経済部商工労働観光課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
25,913,000 円		1,535,148 円		R4.11.2 ~ R5.3.20
■事業の目的・効果				
長引くコロナ禍の影響に加え、エネルギー価格の高騰により厳しい経営環境に置かれる市内事業者を支援するため、事業に要したエネルギー経費の一部を支援する。				
■交付金を充当する経費内容				
応援金				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
中小企業に該当しない公共及び大企業を除く市内全事業所				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
対象期間のエネルギー経費が、前年同時期と比較して10,000円以上増加している事業者に対して応援金を交付した。				
R4.11.10 申請受付開始				
R5.1.31 申請受付締切				
応援金申請件数 191件 事業所あたり上限額200千円				
応援金合計交付額 25,763,000円				
広告費 150,000円				
②事業の効果・検証				
交付先事業所からは、「少しでも応援金を頂けたことはありがたい」などの声があり、エネルギー価格高騰の影響を受けた市内事業者を支援し、事業の継続に貢献できた。				
③成果目標				
目標	交付対象者の事業継続率95%			
実績	令和6年3月実績測定を予定			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

38	事業名 (実施計画記載事業)	エネルギー価格高騰対策運送事業者等応援金事業		
	担当部署	経済部商工労働観光課		
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期
5,415,400 円		2,846,561 円		R4.11.2 ~ R5.2.16
■事業の目的・効果				
エネルギー価格の高騰により、影響を強く受ける燃料代が経費割合で大きい運送事業者を支援し、社会インフラとして重要な物流を担う運送事業者の事業継続を図るため、車両の保有台数に応じた燃料購入費用の一部を支援する。				
■交付金を充当する経費内容				
応援金				
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)				
中小企業に該当しない公共及び大企業を除く日本標準産業分類における大分類H運輸業・郵便業				
■事業の成果・実績				
①事業の経過及び実施状況				
対象期間のエネルギー経費が、前年同時期と比較して10,000円以上増加している事業者に対して応援金を交付。				
R4.11.10 申請受付開始				
R5.1.31 申請受付締切				
応援金申請件数 17件				
応援金合計交付額 5,330,000円				
広告費 85,400円				
業用車両を対象とする。 (緑・黒ナンバー登録車両) 普通車両1台@15千円 大型車両1台@20千円				
②事業の効果・検証				
交付先事業所からは、「少しでも応援金を頂けたことはありがたい」などの声があり、エネルギー価格高騰の影響を受けた市内事業者を支援し、事業の継続に貢献できた。				
③成果目標				
目標	交付対象者の事業継続率95%			
実績	令和6年3月実績測定を予定			
■備考				

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証シート

40	事業名 (実施計画記載事業)	学校保健特別対策事業費補助金														
	担当部署	生涯学習部学校教育課														
事業費(臨時交付金対象経費)		交付金実績		事業始期 ~ 事業終期												
1,745,890 円		872,890 円		R4.12.7 ~ R5.2.28												
■事業の目的・効果																
コロナ禍の学校において、感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校における感染症対策、児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。(事業No.1学校保健特別対策事業費補助金の補助上限額引き上げ相当分)																
■交付金を充当する経費内容																
子供たちの学習保障支援や学校における感染症対策等支援(空気清浄機、CO2モニター、消毒液等)																
■事業の対象(交付対象者、対象施設等)																
市内小中学校、高等学校																
■事業の成果・実績																
①事業の経過及び実施状況																
コロナ禍の学校において、感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するために、距離をとって授業をするためにワイヤレスマイクなどを導入するほか、空気清浄機やサーキュレーターを配置することで、換気対策を行った。また、学校内における感染症対策に必要な消耗品を購入した。																
購入期間: R5.1~R5.2まで <table border="1"> <thead> <tr> <th>購入年月</th> <th>金額</th> <th>品名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年1月分</td> <td>169,324</td> <td>ワイヤレスマイク、マスク 他</td> </tr> <tr> <td>令和5年2月分</td> <td>1,576,566</td> <td>CO2濃度測定器、サーキュレーター、空気清浄機、ペーパータオル、メディカルシート 他</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,745,890</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					購入年月	金額	品名等	令和5年1月分	169,324	ワイヤレスマイク、マスク 他	令和5年2月分	1,576,566	CO2濃度測定器、サーキュレーター、空気清浄機、ペーパータオル、メディカルシート 他	合計	1,745,890	
購入年月	金額	品名等														
令和5年1月分	169,324	ワイヤレスマイク、マスク 他														
令和5年2月分	1,576,566	CO2濃度測定器、サーキュレーター、空気清浄機、ペーパータオル、メディカルシート 他														
合計	1,745,890															
②事業の効果・検証																
学校の教育活動継続に際して、感染症対策・学習保障等のために保健衛生用品や3密対策用品等を配備したことにより、感染リスクの軽減を図ることができた。																
③成果目標																
目標	各学校における感染症対策や学びの保障に関する体制充実を全ての学校で実施する(全11校 100%)															
実績	全11校において、学びの保障のための体制整備を行った。															
■備考																
※国庫補助事業(国庫補助額:873,000円)																